

## 計画目標の達成状況

### (1) 計画目標値の達成状況

計画における目標の達成状況を表1に示します。ここでは、平成28年度の実績値と中間見直し年度（令和4年度）における達成状況、令和9年度最終目標値、令和4年度からの目標達成状況等を示しています。

令和4年度の家庭ごみ市民一人一日当たり排出量は、平成28年度実績より1.7%減の621gとなっており、令和4年度目標値は未達成であり、令和9年度最終目標値に向けては、さらに3.2%の削減が必要となります。一方、事業系ごみ市民一人一日当たり排出量は、平成28年度実績より1.6%減の253gとなっており、令和4年度目標値をほぼ達成していますが、令和9年度最終目標値に向けては、4.0%の削減が必要となります。

表1 計画目標の達成状況

目標項目		平成28年度 実績値	令和4年度 実績値	令和4年度目標値 (中間目標)	令和9年度 最終目標値	令和4年度に 対して必要な 削減率・増加率	令和4年度 からの目標 達成状況
① 家庭系 ごみ量	全体量 (可燃・不燃・粗大・ ペット・びん・集団)	632g/人・日	621g/人・日	614g/人・日	601g/人・日	3.2%削減	未達成
	燃やすごみの量	482g/人・日	480g/人・日	453g/人・日	434g/人・日	9.6%削減	未達成
② 事業系 ごみ量	全体量 (可燃・不燃・粗大・ ペット・びん)	257g/人・日	253g/人・日	252g/人・日	243g/人・日	4.0%削減	未達成
	燃やすごみの量	239g/人・日	197g/人・日	232g/人・日	207g/人・日	—	達成
③ごみの焼却量		30,487t	27,475t	28,528t	26,190t	4.7%削減	未達成
④最終処分量		4,748t	3,595t	4,468t	3,232t	10.1%削減	未達成
⑤再生利用率(リサイクル率)		15.4%	18.8%	17.2%	19.6%	0.8P上昇	未達成

※ 表内の実績値及び目標値は四捨五入を行っているため、増減率(%)は合わないことがあります。

※ 可燃：燃やすごみ、不燃：燃やさないごみ、粗大：粗大ごみ、ペット：ペットボトル、集団：集団回収

表2 各年度の実績値

目標項目		平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値
① 家庭系 ごみ量	全体量 (可燃・不燃・粗大・ ペット・びん・集団)	632g/人・日	642g/人・日	633g/人・日	648g/人・日	649g/人・日	639g/人・日	621g/人・日
	燃やすごみの量	482g/人・日	489g/人・日	478g/人・日	494g/人・日	493g/人・日	488g/人・日	480g/人・日
② 事業系 ごみ量	全体量 (可燃・不燃・粗大・ ペット・びん)	257g/人・日	262g/人・日	239g/人・日	253g/人・日	237g/人・日	243g/人・日	253g/人・日
	燃やすごみの量	239g/人・日	228g/人・日	212g/人・日	231g/人・日	217g/人・日	207g/人・日	197g/人・日
③ごみの焼却量		30,487t	30,304t	29,108t	30,263t	29,627t	28,718t	27,475t
④最終処分量		4,748t	4,198t	3,889t	3,650t	3,852t	3,580t	3,595t
⑤再生利用率(リサイクル率)		15.4%	17.4%	17.1%	16.3%	15.7%	17.0%	18.8%

## (2) 成果指標の達成状況

計画の成果指標の状況を表3に示します。

計画では、「①協働により環境に配慮した3R（発生抑制・再利用・再資源化）を推進」、「②みんなで構築する循環型社会を推進」、「③処理施設の整備を検討し、経済性の向上と環境負荷の低減を推進」という3つの基本方針に基づき、成果指標を掲げ、ごみ減量化・資源化推進に向けた施策を実施してきました。

この8つの成果指標のうち、達成できているのは、「環境学習プログラム数(有馬富士自然学習センター実施分・環境創造課実施分)」の1つだけです。令和4年度までは、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた3密（密閉・密集・密接）回避のため、様々なイベント開催の自粛を求められたことにより、資源ごみ集団回収運動や出前講座、施設見学などの活動に制約を受けたことが、成果指標未達成の要因の一つと考えられます。

表3 成果指標の状況

基本方針	成果指標	計画策定時 (平成28年度)	令和4年度 実績値	令和9年度 最終目標値	令和4年度 からの目標 達成状況
①協働により 環境に配慮した3R（発生抑制・再利用・再資源化）を推進	「家庭系ごみの資源の分別と出し方」（食品ロス削減）に関する出前講座	3回	—	8回/年	未達成
	使用済小型家電回収ボックスの回収量	14t	11.51t	24t/年	未達成
	クリーンセンター搬入ごみの搬入検査の実施回数	7回	—	13回/年	未達成
	再生資源集団回収団体数	81団体	78団体	91団体/年	未達成
②みんなで構築する循環型社会を推進	ごみの出し方・分別方法のホームページアクセス数	25,333回	35,060回	45,000回/年	未達成
	クリーンセンターの施設見学会	1回	—	20回/年	未達成
	環境学習プログラム数 (有馬富士自然学習センター実施分・環境創造課実施分)	25講座	30講座	30講座/年	達成
	三田市ごみ減量・リサイクル推進優良事業所数	19事務所	25事業所	31事業所/年	未達成

※③「処理施設の整備を検討し、経済性の向上と環境負荷の低減を推進」については、新ごみ処理施設整備に関わることであり、成果指標を設けていない。